



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより  
3月号  
令和4年2月28日(月)

春よ 来い

校長 倉本 恵

延期された東京オリンピック・パラリンピック開催から半年、同じ年度に冬季オリンピック・パラリンピックが開催されるという幸運な異例は、私たちにより前を向く元気を与えてくれたように感じます。

辛いことがあっても続ける姿、悔しさをばねにする姿、残念ながら結果がついてこなくてもやり切る姿、そして選手を支える選手同士や周囲の姿・・・。

東日本大震災の被災地支援の一旦も担った松任谷由実さんの「春よ 来い」の曲に乗って滑るエキシビジョンでの羽生選手の姿、ウェアが規定外という判定の後、2回目のジャンプに果敢に挑んだ高梨選手の姿に私は特に胸を熱くしました。みなさんが胸を熱くされたのはどんなシーンだったのでしょうか。

さて、みなさんは、毎朝子どもたちの登校の見守り活動してくださっている方の存在をご存じでしょうか。交差点に黄色いジャンパーのお姿が見えると親も子どももホッとすること、お二人任せにせず自分たちもできることをしていこうと思った、というお話を「『まち』と共に歩む学校づくり懇話会」で伺いました。

丸山台長寿会会長さんは、長きにわたり丸山台中学校前の交差点で毎朝見守り活動してくださっています。その姿を「我々の手本」として、長寿会の方が年明けから駅前の交差点での見守り活動を始めてくださいました。

まちと学校はこの状況でもつながっています。丸小フェスタで自分たちの「食の学び」について発表した6年生が、まちの一員として自分たちにできることを考え、卒業までの短期間とはなりますがフードドライブや募金活動等に取り組みます。趣旨にご賛同いただければ、ご協力お願いいたします。

振り返ると令和3年度は、できないこともありましたが、昨年度とは異なり、この状況でもできることを探し実践していく1年だったと感じます。支えてくださったみなさんにお礼申し上げますとともに、温かい希望の光の見える春が来ることを待ちたいと思います。

## 令和4年度 ここが 変わります

### ○1年生の子どもたちと保護者の方に、よりなだらかに小学校生活に慣れることができるようにします

- ・PTA委員の選出は来年度より、2年生以上の保護者の方からになります。1年生の保護者の方々はまずボランティア活動に参加し、本校の活動を知っていただくことからスタートします。
- ・1年生の下校時刻を4月中は2年生より30分ほど早めます。本校教職員と安全を確認しながら通学路をゆっくり歩くことからスタートし、徐々に自宅まで自分だけで帰ることに慣れるようにします。また、キッズクラブや学童クラブを利用するお子さんは、上級生のいない1年生だけで先生と過ごす時間ができ、クラブの雰囲気やルール等に慣れていくことができます。

### ○「学校だより」と「学年だより」に掲載する内容の差別化を図ります

- ・学校だよりは、全学年の行事等や学校全体の活動内容を、保護者や地域の方々に知らせることをねらいとして作成します。
- ・学年だよりはその学年の子どもたちの様子や学習内容、その他必要な情報を、当該学年の保護者の方に知らせることに重点を置き、紙面構成を刷新します。(行事等は学校だよりにより一本化してお知らせします)なお、学校だよりと学年だよりは今後も紙面で月末に発行します。保健だよりや図書だより等は毎月の確認配信メールと共に添付ファイルで送信します。